

Mathematica で計算した式を $\text{T}_\text{E}\text{X}$ で利用する方法

栗野俊一 *

2016/11/22

Mathematica で計算した式を、ファイル ('mathexp.tex') に出力し、 $\text{T}_\text{E}\text{X}$ の中で利用する場合は、input マクロを利用すればよい。

Mathematica の `Put[TeXForm[expr], "mathexp.tex"]` で、式の情報をファイル ('mathexp.tex') に出力する。

ファイルは、「ドキュメント」下に作られるので、そこから、 $\text{T}_\text{E}\text{X}$ ファイルのある場所に移動する。

$\text{T}_\text{E}\text{X}$ で、その結果を、次のように input マクロで取り込む。

```
\[  
\input{mathexp.tex}% mathexp.tex をここに取り込む  
\]
```

取り込んだ結果

$$x^{10} + 10x^9y + 45x^8y^2 + 120x^7y^3 + 210x^6y^4 + 252x^5y^5 + 210x^4y^6 + 120x^3y^7 + 45x^2y^8 + 10xy^9 + y^{10}$$

* 日本大学理工学部数学科 (kurino@math.cst.nihon-u.ac.jp)